



第1回常任理事会

日時：平成29年5月9日（火） 19:00～21:00

会場：朝日新聞社 見学ルーム（2階）

1 理事長あいさつ

- 部門・年齢立場を超えた立体的活動を行っていききたい。
- 温故知新の姿勢も大切にしながら、合理的にスピーディーに審議を進めたい。
- 書記を設けて、会議に参加できない方にも情報をしっかりと提供していききたい。

2 議題

(1) コンクール等の審査（審査内規）の改定について

- 本日の常任理事会で最終的な結論を出す。
- 総会や部門総会での意見を受けて、第7条に「ただし、金賞の数は代表数を限度に増やしてもよい」という一文を加えた。
- 代表の最下位が同点で銀賞の点数だった場合、決選投票で選ばれなかった方の団体は、金賞にしてもよいのか。→「代表数を限度に」なので、金賞は代表団体以上に増やさない。
- 審査員が4名の地区大会もあるので認めて欲しい。→第4条を「地区大会については、審査員を3～5名としてもよい」と改める。また、第7条の②について「合計が満点の8割以上を金賞、4割以下を銅賞、それ以外を銀賞とする」に改める。
- 以上の改定作業を行った上で、全会一致で可決する。
- 高校のプライマリー大会と代表選考会については、第6条の通り、高校部門の実施細則により定めることを確認した。

(2) 平成29年度愛知県吹奏楽コンクール、中部日本吹奏楽コンクールについて

- 愛知県吹奏楽コンクール
 - ・ 高校部門はピアノを上手固定に。（会場がOKするかどうか確認する）
- 中日本吹奏楽コンクール
 - ・ 高校部門の大編成は人数上限を55名に変更。
 - ・ 中学校部門は三河Aブロックを2つに分割し5ブロックで行う。

(3) 平成29年度愛知県マーチング大会、小学校バンドフェスティバルについて

- 中学校の部と高校以上の部を分けて、総入れ替え制を検討している。
 - ・ 入れ替えを行う場合には、役員の増員は不可欠。
 - ・ これ以上役員を出すのは苦しい。スリム化も必要。

- 東海大会よりも入場料がかなり高額になっているのはなぜか。
 - ・ 参加校数が少なかった時代に決まった入場料であり，減額を検討していきたい。
- (4) 平成29年度第65回全日本吹奏楽コンクール中学の部・高校の部の運営について
 - 少なくともさらに5年以上続くことが決定しており，恒常的な組織作りが必要。
 - 常任理事会メンバーをどんどん登用して，新しい組織作りを目指していく。
- (5) 平成29年度東海マーチングコンテスト・小学校バンドフェスティバルの運営について
 - ガイシホール開催（愛知県主管）なので，役員の動員をお願いしたい。
- (6) 平成30年度愛知県吹奏楽コンクール，中部日本吹奏楽コンクールについて
 - 案①は高校の県大会が早すぎて苦しい。
 - 案②のように中学のA編成とB編成の順番が変わるのは問題ない。
 - 案③を第一希望，案②を第二希望で進めていく。
- (7) 平成30年度東海吹奏楽コンクール中学校・高等学校の部A編成大会について
 - 国際会議場での開催が決まっている。高校代表選考会の実施方法を踏襲していく。
- (8) 当面の諸課題について
 - 特になし

3 連絡事項

- (1) 各委員会より
 - マーチング委員会 栄まちじゅう音楽広場 開催日が11月11日に変更予定
 - イベント委員会 リレーコンサートに参加できるコンサートがあれば連絡を
 - 行事担当委員会 改定された審査方法について検討していく
- (2) 各部門より
 - 特になし
- (3) 事務局より
 - 平成29年度加盟団体数 高校西尾張+1
 - 平成29年度行事日程の確認 変更多数（WEB上更新済み）
 - 総務担当事務局次長より 旧ハンドブックデータ提出の依頼
 - 著作権担当事務局次長より 未報告支部，事項の確認

愛知県吹奏楽コンクール審査内規

平成29年5月9日改訂

- 第1条 この規定は愛知県吹奏楽コンクール実施規定第24条に基づき、審査及び判定について定めるものである。
- 第2条 地区大会についても本内規に準じて行うものとする。
- 第3条 審査員は各団体が演奏した課題曲・自由曲それぞれに対して、2点～10点の9段階（1点刻み）で評価する。（ただし、B編成・プライマリーの部については自由曲のみ）
- 第4条 審査員の数は7名とする。ただし、中学校の部、高等学校の部の地区大会については、審査員を3名～5名としてもよい。
- 第5条 審査の処理は理事長より委嘱された審査係が行う。
- 第6条 審査係は審査員の評価に基づき、金賞・銀賞・銅賞の三段階でグループ分けを行う。ただし、高等学校の部のプライマリー大会と県代表選考会については、愛知県吹奏楽コンクール実施規定細則（高等学校の部）に定めた方法で行う。
- 金賞に値する演奏にはA（10点・9点・8点）、銀賞に値する演奏にはB（7点・6点・5点）、銅賞に値する演奏にはC（4点・3点・2点）とし、A・B・Cの比率が3：4：3になるような数をあらかじめ明示して、それを目安に評価するよう審査員に依頼する。ただし、大学・職場・一般部門については点数の目安はこの限りではない。
- 第7条 賞の決定については、次の2通りの方法から各部門がそれぞれ選択して実施するものとする。ただし、金賞の数はその大会の代表数を限度に増やしてもよい。
- ① 審査員のA・B・C評価のうち、Aが過半数の場合金賞、Cが過半数の場合銅賞、その他を銀賞とする。
 - ② 課題曲・自由曲それぞれの評価の最高・最低点を各1名分ずつカットして集計し、満点の8割以上を金賞、4割以下を銅賞、それ以外を銀賞とする。ただし、審査員が3名～5名の場合は上下カットをせずに集計する。
- また、愛知県教育委員会賞と上位大会への代表を決定するために、それぞれの最高点・最低点を各1名分ずつカットして集計し、金賞団体を優先して合計点の多い団体から選出する。同点の場合は、審査員の投票により決定する。ただし、審査員が3名～5名の場合は上下カットをせずに集計する。
- 第8条 第5条による結果は、審査員の下承を得て大会運営責任者が賞を決定する。
- 第9条 愛知県吹奏楽コンクール実施規定に違反のあった場合は失格とし入賞を取り消す場合もある。
- 第10条 審査票は出演団体に渡し、審査一覧は希望する団体に渡すことができる。
- 第11条 この内規は常任理事会の議決により改訂することができる。

中部日本吹奏楽コンクール愛知県大会審査内規

平成29年5月9日制定

- 第1条 この規定は中部日本吹奏楽コンクール愛知県大会実施規定に基づき、審査及び判定について定めるものである。
- 第2条 中学校の部のブロック大会についても本内規に準じて行うものとする。
- 第3条 審査員は各団体が演奏した課題曲・自由曲それぞれに対して、2点～10点の9段階（1点刻み）で評価する。ただし、ブロック大会については支部の実情に応じて課題曲のみの演奏・評価とすることができる。
- 第4条 審査員の数は7名とする。ただし、中学校の部のブロック大会については、審査員を3名～5名としてもよい。
- 第5条 審査の処理は理事長より委嘱された審査係が行う。
- 第6条 審査係は審査員の評価に基づき、金賞・銀賞・銅賞の三段階でグループ分けを行う。
- 金賞に値する演奏にはA（10点・9点・8点）、銀賞に値する演奏にはB（7点・6点・5点）、銅賞に値する演奏にはC（4点・3点・2点）とし、A・B・Cの比率が3：4：3になるような数をあらかじめ明示して、それを目安に評価するよう審査員に依頼する。
- 第7条 賞の決定については、次の2通りの方法から各部門がそれぞれ選択して実施するものとする。ただし、金賞の数はその大会の代表数を限度に増やしてもよい。
- ① 審査員のA・B・C評価のうち、Aが過半数の場合金賞、Cが過半数の場合銅賞、その他を銀賞とする。
 - ② 課題曲・自由曲それぞれの評価の最高・最低点を各1名分ずつカットして集計し、満点の8割以上を金賞、4割以下を銅賞、それ以外を銀賞とする。ただし、審査員が3名～5名の場合は上下カットをせずに集計する。
- また、上位大会への代表を決定するために、それぞれの最高点・最低点を各1名分ずつカットして集計し、金賞団体を優先して合計点の多い団体から選出する。同点の場合は、審査員の投票により決定する。ただし、審査員が3名～5名の場合は上下カットをせずに集計する。
- 第8条 第5条による結果は、審査員の了承を得て大会運営責任者が賞を決定する。
- 第9条 中部日本吹奏楽コンクール愛知県大会実施規定に違反のあった場合は失格とし入賞を取り消す場合もある。
- 第10条 審査票は出演団体に渡し、審査一覧は希望する団体に渡すことができる。
- 第11条 この内規は常任理事会の議決により改訂することができる。

愛知県アンサンブルコンテスト審査内規

平成29年5月9日改訂

- 第1条 この規定は愛知県アンサンブルコンテストの審査及び判定について定めるものである。
- 第2条 地区大会についても本内規に準じて行うものとする。
- 第3条 審査員は各団体が演奏した曲に対して、2点～10点の9段階（1点刻み）で評価する。
- 第4条 審査員の数は7名とする。ただし、中学校の部、高等学校の部の地区大会については、審査員を3名～5名としてもよい。
- 第5条 審査の処理は理事長より委嘱された審査係が行う。
- 第6条 審査係は審査員の評価に基づき、金賞・銀賞・銅賞の三段階でグループ分けを行う。
- 金賞に値する演奏にはA（10点・9点・8点）、銀賞に値する演奏にはB（7点・6点・5点）、銅賞に値する演奏にはC（4点・3点・2点）とし、A・B・Cの比率が3：4：3になるような数をあらかじめ明示して、それを目安に評価するよう審査員に依頼する。ただし、大学・職場・一般部門については点数の目安はこの限りではない。
- 第7条 賞の決定については、次の2通りの方法から各部門がそれぞれ選択して実施するものとする。ただし、金賞の数はその大会の代表数を限度に増やしてもよい。
- ① 審査員のA・B・C評価のうち、Aが過半数の場合金賞、Cが過半数の場合銅賞、その他を銀賞とする。
 - ② 評価の最高・最低点を各1名分ずつカットして集計し、満点の8割以上を金賞、4割以下を銅賞、それ以外を銀賞とする。ただし、審査員が3名～5名の場合は上下カットをせずに集計する。
- また、愛知県教育委員会賞と上位大会への代表を決定するために、それぞれの最高点・最低点を各1名分ずつカットして集計し、金賞団体を優先して合計点の多い団体から選出する。同点の場合は、審査員の投票により決定する。ただし、審査員が3名～5名の場合は上下カットをせずに集計する。
- 第8条 第5条による結果は、審査員の了承を得て大会運営責任者が賞を決定する。
- 第9条 愛知県アンサンブルコンテスト参加資格・規定に違反のあった場合は失格とし入賞を取り消す場合もある。
- 第10条 審査票は出演団体に渡し、審査一覧は希望する団体に渡すことができる。
- 第11条 この内規は常任理事会の議決により改訂することができる。

中部日本個人・重奏コンテスト愛知県大会審査内規

平成29年5月9日制定

- 第1条 この規定は中部日本個人・重奏コンテスト愛知県大会の審査及び判定について定めるものである。
- 第2条 地区大会についても本内規に準じて行うものとする。
- 第3条 審査員は各団体が演奏した曲に対して、2点～10点の9段階（1点刻み）で評価する。
- 第4条 審査員の数は7名とする。ただし、部門・支部の実情に応じて、審査員を3名～5名としてもよい。
- 第5条 審査の処理は理事長より委嘱された審査係が行う。
- 第6条 審査係は審査員の評価に基づき、金賞・銀賞・銅賞の三段階でグループ分けを行う。
- 金賞に値する演奏にはA（10点・9点・8点）、銀賞に値する演奏にはB（7点・6点・5点）、銅賞に値する演奏にはC（4点・3点・2点）とし、A・B・Cの比率が3：4：3になるような数をあらかじめ明示して、それを目安に評価するよう審査員に依頼する。
- 第7条 賞の決定については、次の2通りの方法から各部門がそれぞれ選択して実施するものとする。ただし、金賞の数はその大会の代表数を限度に増やしてもよい。
- ① 審査員のA・B・C評価のうち、Aが過半数の場合金賞、Cが過半数の場合銅賞、その他を銀賞とする。
 - ② 評価の最高・最低点を各1名分ずつカットして集計し、満点の8割以上を金賞、4割以下を銅賞、それ以外を銀賞とする。ただし、審査員が3名～5名の場合は上下カットをせずに集計する。
- また、上位大会への代表を決定するために、それぞれの最高点・最低点を各1名分ずつカットして集計し、金賞団体を優先して合計点の多い団体から選出する。同点の場合は、審査員の投票により決定する。ただし、審査員が3名～5名の場合は上下カットをせずに集計する。
- 第8条 第5条による結果は、審査員の下承を得て大会運営責任者が賞を決定する。
- 第9条 中部日本個人・重奏コンテスト愛知県大会の参加資格・規定に違反のあった場合は失格とし入賞を取り消す場合もある。
- 第10条 審査票は出演団体に渡し、審査一覧は希望する団体に渡すことができる。
- 第11条 この内規は常任理事会の議決により改訂することができる。

平成30年度 愛知県吹奏楽コンクール 県大会日程案

8月	2日(木)	3日(金)	4日(土)	5日(日)	6日(月)	7日(火)	8日(水)	9日(木)
案①	高校①	高校②	中学B	大職一	/	中学A①	中学A②	代表選考会
案②		高校①	高校②	大職一	/	中学A①	中学A②	代表選考会 中学B
案③		高校①	高校②	大職一 中学B	/	中学A①	中学A②	代表選考会

平成29年度 愛知県吹奏楽連盟第1回常任理事会

マーチング委員会提案資料

平成29年5月9日（火）

朝日新聞社

- 1 平成29年度重点目標と具体策について
- 2 平成29年度事業について
 - (1) マーチング講習会・指導者のための研修会
 - (2) 講師派遣事業
 - (3) 愛知県マーチング大会
 - (4) 動くコンサート
 - (5) 地域連携イベントについて
- 3 マーチング委員会の組織・運営見直し
- 4 平成31年度の愛知県マーチング大会
- 5 東海マーチングコンテスト
- 6 ドラムメジャーDVDの作成

各部門事務局の皆様へのお願い

以下の内容について部門事務局にて集約をお願いします。

- 1 愛知県マーチング大会（9/18）への役員派遣
 - ・小中連盟、高校連盟各支部3名、大職一連盟10名の派遣をお願いします。
- 2 東海マーチングコンテストへ（10/14）の役員派遣
 - ・高校連盟各支部より3名 大職一連盟より10名程度の派遣をお願いします
 - ※小学校バンドフェスティバル（10/15）は小中連盟各支部よりの役員を別途依頼
- 3 マーチング大会鑑賞招待と出場呼びかけ
 - ・大会を鑑賞いただける団体を募集します（入場券進呈）。出場していない団体への呼びかけをお願いします。
 - ・中学校へのお出場呼びかけとともに、各種支援制度の周知をお願いします。
- 4 栄まちじゅう音楽広場（11/11）への出演募集
 - ・吹奏楽・マーチング団体の出場を募集します。
 - ・期日が変更になりました。

※1・2・3について8月4日（金）までをお願いします。 E-mail shimizu-takeo@anjo.ed.jp

愛知県吹奏楽連盟マーチング委員会

1 平成29年度重点目標と具体策について

重点目標

- ・マーチングの質のさらなる向上を図ると共に層の拡大を図る。
- ・マーチングが今以上に多くの市民に愛されるよう、イベントの充実発展をはかる。

具体策

- ①愛知県のマーチングのさらなる層の拡大と質の向上を目指して
 - ・組織を活用し、各部門支部での新規参加団体を確実に増やすようにする。
 - ・マーチング指導者のネットワークを強化し、指導者の育成や活用をはかる。
 - ・マーチング講習会、指導者講習会・学習会の充実をはかる。
 - ・生徒が自主的に目標を持って技能を磨けるシステムの講習会を新規に開催するとともに、DVD資料の充実をはかる。
 - ・講師派遣制度の充実をはかり、マーチング活動へのハードルを低くする。
 - ・マーチング大会、動くコンサートで希望団体への鑑賞招待を行う。
 - ・今後も継続的にマーチングが発展できるように、委員会組織の見直しを図る。
- ②市民に愛されるマーチングのために
 - ・イベント委員会と連携して、各地区でのマーチングへの取組・合同演奏などの動きを支援していく。
 - ・17回の実績をもつ動くコンサートを見直し、内容の充実発展をはかっていく。
 - ・地域を活性化させるための地域イベントに積極的に参加する。栄まちじゅう音楽広場については、栄一帯の大規模野外イベントとしての発展を視野に入れて開催する。

2 平成29年度事業について

(1) マーチング講習会・指導者のための研修会

第1回専門講習会 5月7日(日) 佐織中 MMリーダー、MP、DM
第2回専門講習会 8月20日(日) 27日(日) 佐織中

※団体対象の基本の動きに関しては出前講習会で対応していく。

- ・コース別の講習とする。(MMリーダー、MP、DM)
- ・MMリーダー講習は、リーダー・指導者対象とし、特別講師を招いて行う。
- ・愛知マーチング指導者友の会の講習と連携して指導者研修会を行う。
- ・新規に「技能ライセンス」講習会を立ち上げる。

「技能ライセンス」講習会について

- ・目標がわかりやすく中高生、若手指導者の励みになるよう、新システムを取り入れ、個人の技能を高める講習会をこれまでの講習会と別に開催する。
- ・新年度予算に50万円を計上する。
- ・当初は日本マーチング協会東海支部の協力を得て、講師の派遣を依頼する。

(2) 講師派遣事業について

- ・出前講習会を継続し、各団体のニーズに合った講習会としていく。
- ①スーパーマーチングバンド事業として、全国レベルのマーチングバンド育成に努める。

- ②マーチング大会初出場団体、ニューカマー東海大会出場2年までの団体に講師を5回程度派遣する。
- ③顧問の転勤等によってマーチング活動の継続が困難になった学校に講師を3回程度無料で派遣する。(パレードコンテストも含む)
- ④上記以外のニューカマー部門参加団体にも希望に応じて2回程度の講師派遣を行う。
- ⑤希望する学校に講師を派遣する。一人5000円(最大2万円)で3～5回程度派遣
- ⑥この制度について、ハンドブック、「マーチング委員会だより」などで周知する。

(3) 愛知県マーチング大会

期日 平成29年9月18日(月・祝) 9月17日(日) 19:00 会場準備
 ※予備日未定
 会場 日本ガイシホール
 役員 70名(マーチング委員・県吹連役員・各支部実行委員3名・大職一実行委員10名
 ・協会関係者等) 警備員15名 看護師1名
 ※19団体以下の支部は実行委員2名

【検討課題①】大会日程(観客の入れ替え)について

- ・観客数が5000人を超え、収容しきれなくなっている。
- ・多くのお客様によりよい席から見ていただけるよう中学校と高校で観客の入れ替えを行うかどうかを検討する。
- ・以下の3案をもとに、それぞれのメリット、デメリットを検討し、マーチング委員会で決定する。

平成29年度愛知県マーチング大会日程案1(入れ替え無し:現状)

時間	動き	備考
前日 19:00	会場準備(マーチング委員・東邦高)	M連の大会が終了し OK が出てから入館
当日 8:00	一般駐車場解錠	事務局会場入り 7時30分 館外ガードマン配備 8時00分
9:00	出演者館内入場可	役員集合・打ち合わせ① 8時20分 館内ガードマン配備 8時30分
9:15	場踏み開始(楽器音だし可) 5分×35団体=175分	役員打合せ② 10時 当日券販売開始 10時30分
12:10	中ニュー→中パレ→中フェス→高ニュー →高パレ→高エレ→高フェス→特演 場踏み終了	審判員会場入り(11時30分) 審査員会場入り(12時) 開場(12時15分) ※場踏み終了後
12:58	開会式(2分) 中学校ニューカマーの部 中学校の部 高校ニューカマーの部 休憩 20分 高校以上の部 フリースタイル部門	
17:40	演奏終了	審査員・審判員解散 17時50分
17:50	表彰式	ガードマン解散 18時30分(予定)
		解散・最終片づけ終了 19時

平成29年度愛知県マーチング大会日程案2（入れ替え有り）

時間	動 き	備 考
前日 19:00	会場準備(マーチング委員・高)	M連の大会が終了し OK が出てから入館
当日 7:00	一般駐車場解錠	事務局会場入り 7時00分 館外ガードマン配備 7時30分 役員集合・打ち合わせ① 7時40分 館内ガードマン配備 8時00分
8:00	出演者館内入場可	
8:20	場踏み開始(楽器音だし可) 5分×18団体=90分	場踏み動線開始 8:02
9:50	場踏み終了・中学の部開場	
10:20	中学の部開演 ニューカマー→パレコン→フリー →特演	※成績発表は場内アナウンス、場外掲示、SNSでの公表を同時に行う
12:30	終演・観客退出	
12:50	成績発表	
12:50	高校の部場踏み開始	
14:30	5分×18団体=90分	
15:00	高校の部開場	
15:00	高校の部開演	
17:40	ニューカマー→パレコン→フリー →特演	
18:00	→特演	
18:00	高校の部終演 成績発表・代表校発表	
18:20	代表団体打合せ	解散・最終片づけ終了 19時30分

平成29年度愛知県マーチング大会日程案3（入れ替え有り②）

時間	動 き	備 考
前日 19:00	会場準備(マーチング委員・高)	M連の大会が終了し OK が出てから入館
当日 7:00	一般駐車場解錠	事務局会場入り 7時00分 館外ガードマン配備 7時30分 役員集合・打ち合わせ① 8時20分 館内ガードマン配備 8時00分
8:00	出演者館内入場可	
8:50	場踏み開始(楽器音だし可) 5分×38団体=190分	場踏み動線開始 8:32 中高とも場踏みを行う
11:50	場踏み終了	
12:00	中学校の部開場	高校生は昼食・出演者席にて見学など
12:30	中学の部開演 ニューカマー→パレコン→フリー →特演	※成績発表は場内アナウンス、場外掲示、SNSでの公表を同時に行う
14:30	→特演	
14:50	終演・観客退出	
15:00	成績発表	
15:30	高校の部開場	
15:00	高校の部開演	
18:00	ニューカマー→パレコン→フリー →特演	
18:20	→特演	
18:20	高校の部終演 成績発表・代表校発表	
18:40	代表団体打合せ	

【検討課題②】予備日未定について

- ・当日暴風警報が発令され実施できなかった場合、別日に同規模の会場を確保することが今年度はできなかった。
- ・大学の体育館などを借用しておき、予備日の実施となった場合は、観客入場無しで、出演者も順次入れ替えて実施する。

(4) 動くコンサート

ア 概要

第18回 動くコンサート ～ステージマーチングフェスティバルinINAZAWA～

平成30年3月11日(日) 名古屋文理大学文化フォーラム(稲沢市民会館)

- ・ 県吹連主催の唯一最大のコンサート、オフシーズンの学習会として開催する。
- ・ 音楽表現や音作りを大切にしつつ、動きの工夫で魅力ある演奏会を目指す。
- ・ 講師の指導やアドバイスを受け出演者にとって学びのある会とする。

予算：委員会予算、県吹連補助金、協賛金、チケット売り上げ

役員：愛知県吹連役員・西尾張支部役員・小中各支部・高校各支部・大職一連盟

- ・ マーチング委員会・裾野を広げる会他

イ 日程について

時 間		内 容
10日 前日	18:00	ステージ仕込み
	19:00	ポイント打ち 貼り紙、受付等準備
	21:00	団体リハーサル 退館
11日	8:30	役員集合・打ち合わせ 館内警備員配置 出演者入館・参加団体受付開始 リハ動線開始
	9:30	リハーサル開始
	12:30	合同演奏練習 交流会 当日券販売
	13:30	開場
	14:30	開演
	16:00	終演・出演者解散
	16:15	片付け アドバイスタイム
18:00	撤収完了 解散	

(5) 地域連携イベント

今年度も地域と連携した下記の吹奏楽関連イベントを推進していく。

ア 有松しぼり祭り吹奏楽イベント 6月4日(日)

- ・ 絞り祭りまつり実行委員会の主催で行う
- ・ 駅前広場、旧東海道、絞り会館ステージ等町一帯で展開
- ・ 地元吹奏楽団体、マーチング団体が出演。(有松中、鳴海中、当知中、東邦高、名古屋南高、東邦大)
- ・ 出演団体には、交通費・運搬費の半分程度を実行委員会で負担。

イ ナゴヤ・マーチング&バトンウェーブ2017

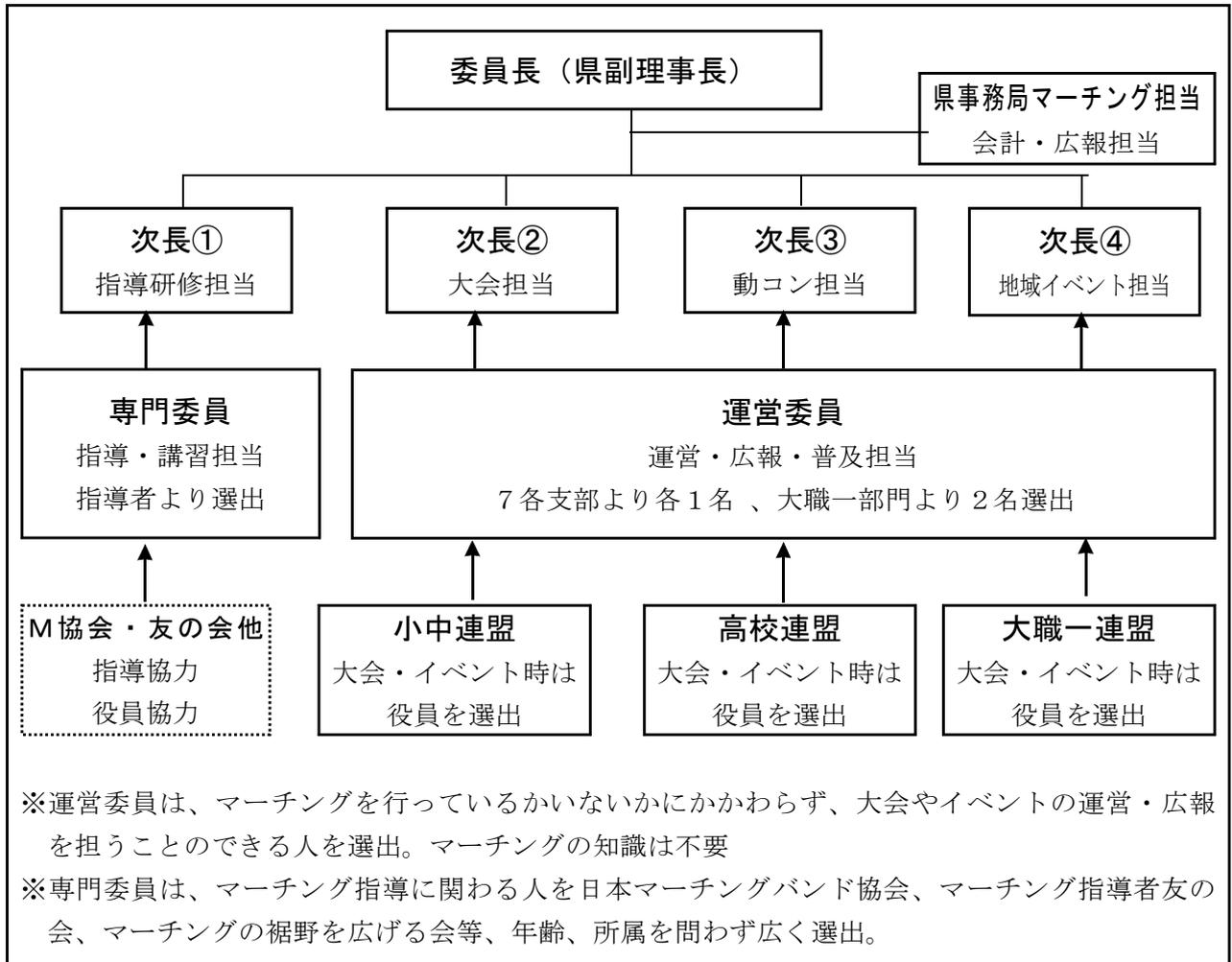
期日 10月8日(日)

会場 日本ガイシホール
 出演 県内のマーチング・バトン・吹奏楽約22団体 小学生から大人まで
 企画 マーチング特別企画 1000人のバトントワラー
 ゲスト 楽器プレイヤー 県外バンドなど
 予算 名古屋市からの予算約600万円と入場料
 運営 実行委員会（名古屋市・吹連・M協会・B協会）で運営
 ※未来に繋ぐイベントとするため、実行委委員の入れ替えを図る。吹奏楽連盟としても今後10年程度企画、実務を担当できる委員の人選をしたい。

ウ 栄まちじゅう音楽広場

- ・11月11日（土）、久屋大通発展会と共催で開催予定。
- ・オアシス21を中心として開催し、栄一帯での展開の足がかりとする。
- ・連盟予算として20万円を計上し、出演団体の運搬費補助に充てる。
- ・4月より出場団体を募る。
- ・久屋大通発展会の他、栄公園振興株式会社、南大津通商店街振興組合などとも連携し、南大津通、オアシス21などを含む栄一帯の野外イベントとしての発展を視野に入れて開催していきたい。

3 マーチング委員会の組織・運営見直しについて



(1) 目的

- ・愛知のマーチングの継続的な普及・発展のため、今後も全県的な協力体制のもと組織的な運営ができるようにする。
- ・愛知のマーチングの質の向上のため、専門的な知識や指導力を有する人材の確保と活用を図るようにする。

(2) 組織の見直し

- ・数年以内の部門化を目指し、以下の組織に移行する。平成29年度を移行期間とする。
- ・各支部より1名、大職一部門より2名の委員を選出する。
- ・指導者より専門委員を選出する。
- ・委員の中からマーチング大会担当次長、動くコンサート担当次長、地域イベント担当次長、指導研修担当次長を選出する。
- ・当面は県吹連役員の協力を得るため、県吹連事務局にマーチング担当を置く。
- ・講習会の運営はマーチング委員会で行う。
- ・マーチング大会、動くコンサート等のイベントの運営は従来通り、県吹連役員、各部門よりの役員、若手指導者などで行う。

(3) 大会等運営について

- ・マーチングへの理解を深め、普及・発展を図るため、各支部、大職一連盟からの役員派遣は今後お願いしたい。
- ・若手指導者、高校OB、現役高校生、連盟加盟の大学生、加盟団体副顧問、シルバー人材など連盟役員以外のスタッフを活用する。
- ・吹奏楽顧問経験者で現在は顧問をはずれている現役教員の活用を図る。
- ・今年度は秋季に事業が重なっているので、計画的な運営が必要となる。上記のような役員を活用し、一部の人に負担がかからないようにする。

9月18日 県マーチング大会

10月 8日 ナゴヤマーチング&バトンウェーブ

14日 東海マーチングコンテスト

15日 東海小学校バンドフェスティバル

11月 4日 栄まちじゅう音楽広場

※この他10月21・22日 全日本吹奏楽コンクール

4 平成31年度の愛知県マーチング大会について

- ・日本ガイシホール改修（平成31年1月～32年7月）のため、使用できない。
- ・早めから対応を考えておく必要がある。
- ・現状で2000人の出演者と5000人を超える観客があるため、収容人数の多いアリーナで開催し、観客の入れ替え制を実施する必要がある。

案① スカイホール豊田で開催（固定席3500）

- ・マーチングバンド協会の組織改編のため、この時期にスカイホールで行っていたマーチングバンド三河大会が平成29年度よりなくなる。
- ・平成21年度東海マーチングコンテストで使用した経験がある。
- ・一般車両の駐車スペースとして豊田スタジアム、隣接の小学校なども借用できる。

案② 愛知県体育館で開催（固定席4400）

- ・使用の経験無し
- ・トラック等運搬車両や一般車両の駐車場がほとんど無い。名城公園 P などを利用することになる。

案③ 各地の大きな体育館で観客の入場を制限して開催

一宮、春日井（固定席2000）岡崎市（固定席2600）

- ・マーチング協会愛知大会と連続2日間開催で優先的に会場おさえを進めたい。

5 平成29年度東海マーチングコンテスト

(1) 期日 平成29年10月14日（土）

※13日（金）は準備日。15日（日）に小学校バンドフェスティバルを開催。

(2) 会場 日本ガイシホール

(3) 役員

- ・前回の実績をもとに下記のように依頼する

東海マーチングコンテスト

県吹連役員 マーチング委員 高校連盟各支部より3名 大職一連盟より その他

東海小学校バンドフェスティバル

県吹連役員 イベント委員 小中連盟各支部より3名 その他

6 ドラムメジャーDVDの作成

- ・平成28年度マーチング委員会で作成しマーチング大会出場団体に配布した。
- ・全国に例を見ない取り組みで、他府県の団体より問合せ多数あり。全日本吹奏楽連盟からも問合せ有り。丸谷先生より今後第3事業部に紹介。
- ・今年度は、利用者や関係者の反応を集約し、今後、より使いやすいものに改訂する。

